

【経緯】

年月日	内容
平成14年5月	「鳥取県海岸保全基本計画」の策定
平成17年6月	「鳥取県沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン」の策定
平成17年度	サンドリサイクルの取り組みを本格的に開始
平成19年10月10日	「鳥取県 東部沿岸土砂管理協議会」の設立
平成20年8月26日	「鳥取県 西部海岸管理協議会」の設立
平成21年9月3日	「鳥取県 中部沿岸土砂管理協議会」の設立

鳥取沿岸海岸保全基本計画の基本理念

県民の財産である白砂青松の海岸を維持・回復し、次世代に継承していくことを目標にして、歴史・文化により育まれた故郷を守り、人々がいきいきと暮らせる魅力ある海岸づくりを目指す。

鳥取沿岸の総合的な土砂管理の目標

- ・流砂系における量と質(粒径)のバランスのとれた土砂の流れの「連続性」の確保・回復を目指す。
- ・各管理者、地域住民、利用者が、各々の役割分担のもと連携した管理を目指す。

東部沿岸土砂管理協議会

◆対象範囲 長和瀬漁港～陸上海岸(H23から拡大)

◆協議会の委員

鳥取大学、鳥取河川国道事務所、県(空港港湾課、河川課、東部維持管理課、東部河川砂防課、鳥取港湾事務所)、鳥取市、岩美町

中部沿岸土砂管理協議会

◆対象範囲 赤碕港から泊漁港

◆協議会の委員

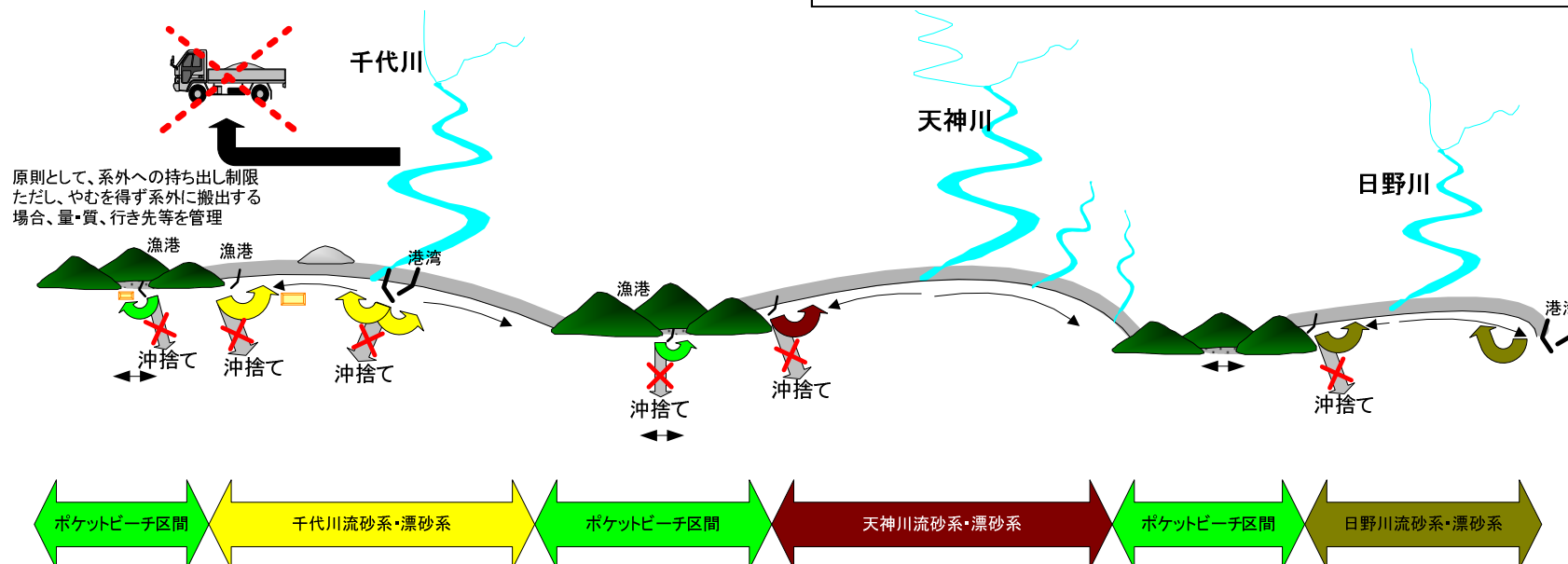
鳥取大学、倉吉河川国道事務所、県(空港港湾課、河川課、中部維持管理課、中部河川砂防課、中部林業振興課)、湯梨浜町、北栄町、琴浦町

西部海岸管理協議会

◆対象範囲 淀江漁港から境水道

◆協議会の委員

鳥取大学、日野川河川事務所、境港・空港整備事務所、境海上保安部、県(空港港湾課、河川課、西部県土整備局、西部農林局、西部県民局、西部生活環境局)、米子市、境港市、日吉津村



# サンドリサイクル施策導入の効果について(東部沿岸の例)

## 管理者間の円滑な調整等のため土砂管理協議会を設置

### ◆設置目的

- ◆鳥取沿岸において、土砂の流れの連続性の確保及び回復を目指す。
- ◆関係機関と連携しながら土砂管理等促進するため、その方策の検討及び調整を図る。

### ◆協議会の委員(東部沿岸の例)

鳥取大学工学部、国交省鳥取河川国道事務所、鳥取県県土整備部空港港湾課、同河川課、東部総合事務所県土整備局維持管理課、同河川砂防課、鳥取港湾事務所、鳥取市農林水産部林務水産課、同都市整備部都市環境課、岩美町産業建設課

## 定性的効果①

- ◆各管理者間で砂浜海岸の汀線状況等を共通認識！
- ◆土砂の発生(供給)と需要バランスを把握し、管理者間が連携した土砂管理の実施が可能に！



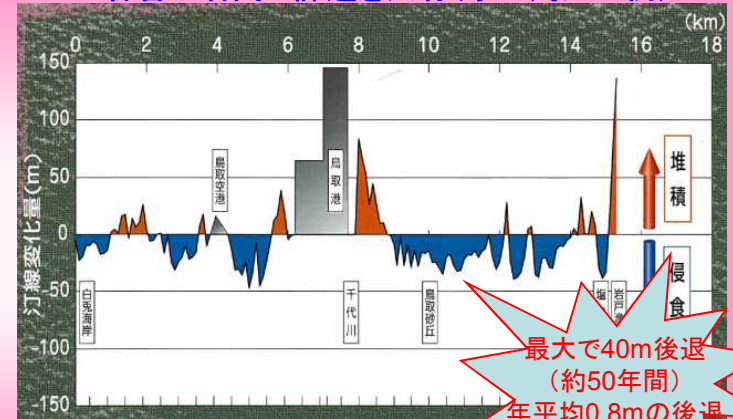
第2回東部沿岸土砂管理協議(H20.8)

各管理者が情報を共有してサンドリサイクルの取組を実施

単位:千m<sup>3</sup>

区分	H17	H18	H19	H20	H21	合計	
鳥取県	鳥取港	85	23	14	16	31.7	169.7
	塩見川	9	9	8.2	9	21.4	56.6
鳥取市	岩戸漁港	—	1	1.2	1.5	2	5.7
合計	94	33	23.4	26.5	55.1	232	

### 各管理者間で課題を共有(砂丘周辺の例)



空中写真による汀線変化

<昭和22年(1947)と平成15年(2003)の比較>

## 定量的評価

汀線は、ほぼ現状を維持！(砂丘周辺の例)

各管理者が課題・役割分担を認識し、サンドリサイクルを実施



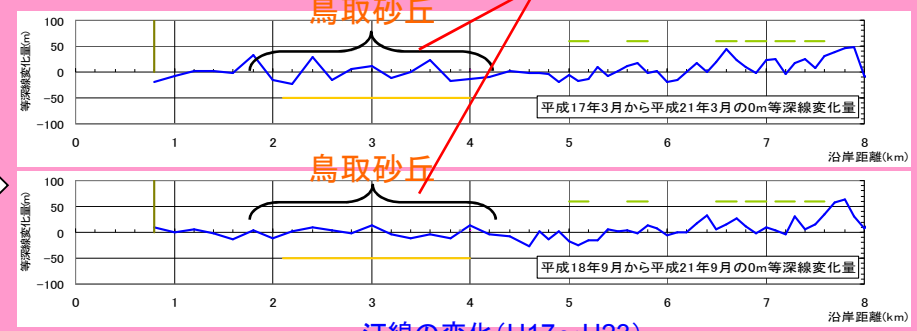
鳥取港の土砂投入状況

港湾管理者



塩見川の土砂投入状況

河川・海岸管理者



汀線の変化(H17~H23)

# サンドリサイクル施策導入の効果について (現状・課題を一般県民も含めて広く共有)

建設工業新聞  
(平成24年2月17日)

## 12年度実施計画決める

海岸沿線のサンドリサイクル  
状況報告

建設工業新聞 2月17日号に掲載された「12年度実施計画決める」の記事の抜粋です。記事は、国土交通省が主催する「海岸沿線のサンドリサイクル」に関する取り組みについて、12年度の実施計画を決定したことを報告しています。記事には、国土交通省の担当者が記者会見で述べた内容が紹介されており、今後の取り組みや課題についても触れられています。

国土交通省は、海岸沿線のサンドリサイクルの取り組みを推進するため、12年度の実施計画を決定しました。この計画では、国土交通省が主催する「海岸沿線のサンドリサイクル」に関する取り組みについて、12年度の実施計画を決定したことを報告しています。記事には、国土交通省の担当者が記者会見で述べた内容が紹介されており、今後の取り組みや課題についても触れられています。

## 定性的効果②

- ◆ **サンドリサイクル施策導入(取組みの見える化)**により、海岸侵食の現状や課題、取り組み状況が報道機関等を通じ広く露出
- ◆ 海岸管理者のみならず、一般県民とも情報共有を図ることで、地域に存する付加価値(観光資源等)等を官民一体となって改めて認識
- ◆ 官民一体となって施策を監視するとともに、自らの地域の付加価値(観光資源等)を育む取り組む行うきっかけに…

朝日新聞(平成21年3月15日)

## 砂丘侵食 食い止めた!

### 「港が主因」部署超え対策

鳥取県 鳥取市

鳥取県鳥取市で、海岸沿いの砂丘が侵食され、砂丘の頂上部分が消失する危険にさらされている。県は、この問題を解決するために、港が主因であると判断し、港の防波堤を強化する対策を講じた。この対策により、砂丘の侵食が食い止められた。記事には、この対策の詳細や、今後の取り組みについても触れられている。

日本海新聞(平成22年1月31日)

## ソフト思考で浸食防げ

### 再生へ気風醸成が鍵

ECO STYLE Tottori 2010

鳥取県鳥取市で、海岸沿いの砂丘が侵食され、砂丘の頂上部分が消失する危険にさらされている。県は、この問題を解決するために、ソフト思考で浸食を防ぐ対策を講じた。この対策により、砂丘の侵食が食い止められた。記事には、この対策の詳細や、今後の取り組みについても触れられている。